

【品川区浸水ハザードマップ】



(1)この図は、城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海域や国管理河川へ排水される区域等を対象にして、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の水深を示したものです。

(2)これまでの浸水予想区域図は、大雨を「平成12年9月に発生した東海豪雨」としていましたが、今回の浸水予想区域図(改定)では、「想定し得る最大規模の降雨」に変更しています。

皆様には、洪水の可能性について知つていただくことにより、「緊急時の水防・避難」、「水害に強い生活様式工夫」等に役立てていただくようお願い致します。

この浸水予想区域図(改定)は、想定し得る最大規模の降雨が「対象とした区域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。

シミュレーションでは、対象とした地域における現時点(平成29年)での河川、洪水調節池及び下水道の整備状況等を考慮しています。

(3)浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。

一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。

また、河川から離れていても、地盤が低い箇所等では、浸水したときの水深が大きくなるので注意してください。

また、落ち葉による雨水までの詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは、反映しきれないため、注意してください。

対象とした降雨想定最大規模降雨
(時間最大雨量 153mm) (総雨量 690mm)

※この図は平成30年12月20日に東京都が公表した「城南地区河川流域浸水予想区域図」に基づき品川区が作成を行ったものです。

